



イノベーションエコシステムをいかに構築するか？

東工大EDGEプログラム (CBEC)では、このたび、
Managing Director of the MIT Entrepreneurship Centerを
されていた**Kenneth Morse**氏（現ESADEビジネススクール
客員教授）と、エス・アイ・ピー（株）CEO 齋藤茂樹氏をお
招きし、**イノベーションエコシステムをいかに構築するか？**
という題目で講演会を開催することになりました。
万障お繰り合わせの上ご参集ください。

記

日時：2016年2月22日（月）16:00~17:50（受付:15:30~）

場所：東京工業大学・大岡山キャンパス

E E I 棟1階会議室

（〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1）

スケジュール

16:00~16:05 開会の辞

16:05~16:25 CBECのご紹介

16:30~17:10 “The Challenges and Suggestions for
Implementing Innovation Programs in major Japanese Firms
today”

（現代の主要日本企業が抱えるイノベーションプログラム実施の課題）

ESADEビジネススクール客員教授 Kenneth Morse氏

17:15~17:45 「ベンチャー・インキュベーション事業のディスカッショ
ン・ポイント」

エス・アイ・ピー（株）代表取締役社長 齋藤茂樹氏

17:45~17:50 閉会の辞



Kenneth Morse氏は、Managing Director of the MIT Entrepreneurship Center および Chairman of Entrepreneurship Ventures, Inc. を経て、現在はバルセロナのESADEビジネススクールの客員教授として活躍している。

同氏は、常にアイデアを生み出し続ける起業家であり、企業革新における権威として知られている。



彼はMITの同僚とイノベーションによる技術ベンチャーを6つ共同設立し5つは成功裡（IPO・合併）に終わらせている。残りの1社は悲惨な結末であったが。。

同氏は、日本、ヨーロッパ、米国の大企業や地方政府に対し、イノベーション戦略における様々な局面について助言をしている。氏は、北海道から本州・関西・九州の大手製造業等とビジネスを展開、160回を超える日本全国を訪問してきている。また、彼は文化大革命の後半の8年間中国でをビジネスしてきている。

同氏は、イノベーション=発明×実用化だと考え、どちらかが欠けても何も進まないと主張する。

齋藤茂樹氏は、エス・アイ・ピー株式会社 代表取締役社長、日本ベンチャーキャピタル協議会理事（2008-現在）、シンガポールVC&PE協会会員、アクセンチュア通信メディアハイテク本部 特別顧問



東京大学経済学部卒業後、85年に民営化一期生としてNTTに入社。大企業向け通信ネットワークの販売・構築、料金・サービス契約約款のデザイン、認可業務等を担当、94年退社。97年、米国マサチューセッツ工科大学

（MIT）スローンスクールにてハイテクベンチャーの経営を学びMBA取得。その後、米国ネットスケープ・コミュニケーションズ入社、日本市場でのポータル・ビジネスを統括。（株）デジタルガレージでは、公開期を中心メンバーとして参画、代表取締役として大手企業への戦略的インターネット・ソリューションを提供。大企業とともに新規事業を立ち上げる手法「スポンサード・インキュベーション」を開発。現在は、ICT・ロボット・ヘルスケア・農業等をはじめ幅広い領域で日本発ビジネスをアメリカ・アジアを中心にグローバル展開するハンズオン投資を活動中。著書に、「イノベーション・エコシステムと新成長戦略」丸善出版がある。